

第8章

これで完成！

作り方 その4 本体に基板と羽を付けて完成させる

主要なパーツが用意できました。本体に基板と羽を付けて、作品を完成させましょう。

8-1 電池ホルダのリード線をはんだ付けする

電池ホルダのリード線を基板にはんだ付けするために、先端の処理をしておきます。赤は赤，黒は黒で分けてください(写真8-1)。

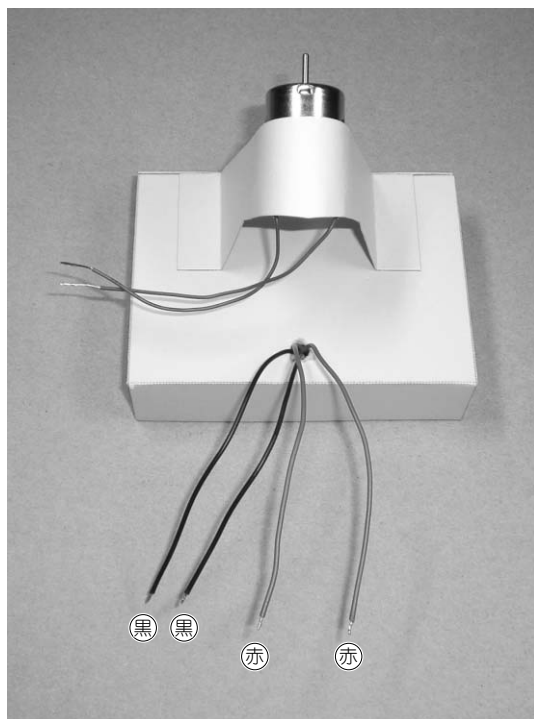


写真8-1 電池ホルダのリード線を赤と黒に分ける



写真8-2 電池ホルダのリード線を約10mmカットする

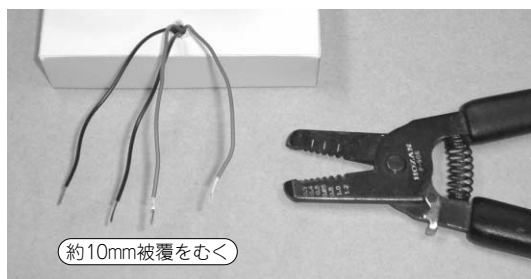


写真8-3 先端の被覆を約10mmむく

先端の部分を、それぞれ約10mm カットします(写真8-2)。

ワイヤ・ストリッパを使って、先端の被覆をそれぞれ約10mm むきます(写真8-3)。ワイヤ・ストリッパを使うときは、より線AWG22表示の径を使うとよいでしょう。赤どうしの先をクロスさせて、そのままひねってより合わせてください(写真8-4、写真8-5)。

黒どうしの線も同様に、より合わせておきます(写真8-6)。

赤は赤、黒は黒でより合わせたら、予備はんだをします(写真8-7)。予備はんだというのは、はんだゴテとはんだを使って、この後ではんだ付けする部分に前もってはんだをなじませておくことです。線自体があまり太くなるほど、はんだを付けてはいけませんが、充分しみわたるようにはんだを付けてください。予備はんだをしたら、5mm ほど残して余分な部分を切っておきます(写真8-8)。

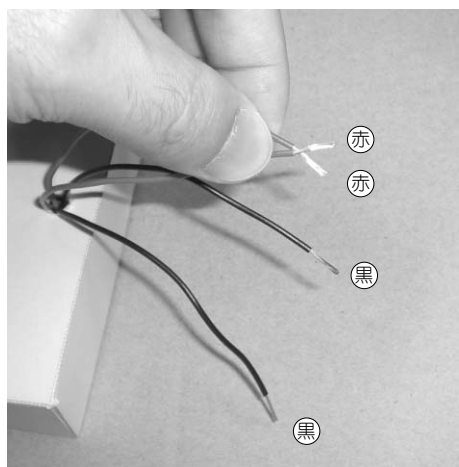


写真8-4 赤どうしの先をクロスさせる

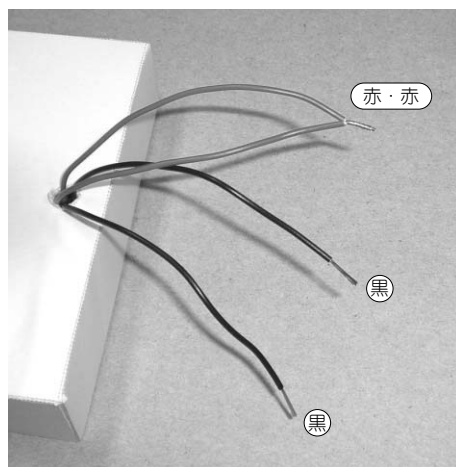


写真8-5 クロスさせたところをひねってより合わせる

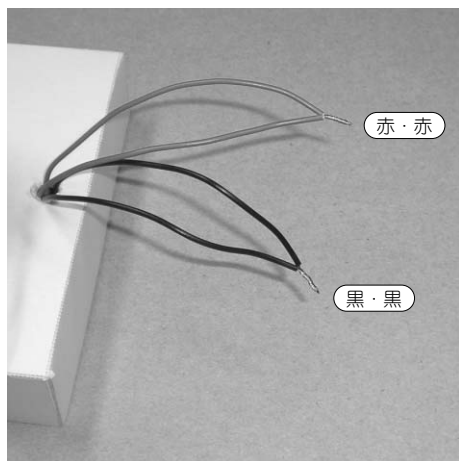


写真8-6 黒どうしの線もより合わせる

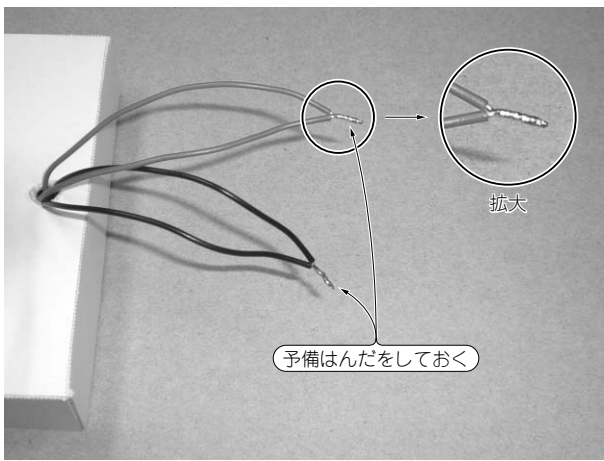


写真8-7 それぞれ予備はんだをする